

2024年！全島民の思いを一つに実現させよう！  
「世界遺産の島・佐渡」

佐渡島世界遺産登録・島民団結シンポジウム

佐渡島の世界戦略！

日本の佐渡から世界の佐渡へ！

12月16日（土）12:30～15:30

アミューズメント佐渡 小ホール

四半世紀に渡る島民の悲願！佐渡の世界遺産登録。いよいよ実現に！

佐渡のアイデンティティを世界に発信！

佐渡文化を継承し、100年先の子供たちに伝え継ごう佐渡の未来

四半世紀に渡り取り組み続けてきた「佐渡島の金山」世界文化遺産登録の悲願達成まであと一歩！今まさに我々の取り組みが実を結ぼうとしています！目の前にある世界遺産登録へ向けて今一度、島民が一致団結し、佐渡の誇りを胸に、希望溢れ世界に誇れる佐渡の未来について皆で本気で考えんかさ！

お申し込みは  
こちらから！

申込締切：12/13（水）  
当日入場も可能！



第1部

基調講演①

「地域の観光資源の磨き上げについて」

登壇者：竹内 大一郎 様（観光庁 観光資源課長）



基調講演②

「世界遺産登録までの道のりと登録後の活用」

登壇者：岩川 健 様  
（屋久島町役場観光まちづくり課 地域振興係長）

第2部 パネルディスカッション

「観光立国の推進と佐渡の世界遺産登録の意義と未来」



佐渡を世界遺産に

世界遺産登録はゴールじゃない！

伝統と新しい価値の融合で佐渡は進化する！

〈主催〉

〈後援〉



お問い合わせ 佐渡市役所観光振興部観光振興課 TEL：0259-67-7602

日時 | 2023年12月16日 (土) 12:30~15:30

会場 | アミューズメント佐渡【小ホール】佐渡市中原234-1

12:30 開会の辞 佐渡市長 渡辺 竜五

花角英世新潟県知事ビデオメッセージ

新潟県観光文化スポーツ部 副部長 前川 翔 様

来賓紹介

## 第1部

12:50~13:10 基調講演①「地域の観光資源の磨き上げについて」

登壇者：竹内 大一郎 様 (観光庁 観光資源課長)

世界遺産登録目前の「佐渡島の金山」だけでなく、佐渡には独自の歴史に根付いた文化や、雄大な自然が数多くあります。世界遺産登録後も見据え、他の地域の事例も踏まえながら地域の観光資源の磨き上げについて講演をいただきます。

13:10~13:50 基調講演②「世界遺産登録までの道のりと登録後の活用」

登壇者：岩川 健 様 (屋久島町役場観光まちづくり課 地域振興係長)

1993 (平成5) 年に白神山地とともに日本初の世界自然遺産に登録。自然の保護だけでなく、雄大な自然を活かしたエコツーリズムを中心に毎年多くの観光客が訪れる「保護」と「活用」を両立した世界的なブランドを築き上げました。世界遺産の先進事例として屋久島の世界遺産登録までの道のりと登録後の地域資源の活用について講演をいただきます。

## 第2部

パネルディスカッション 14:00~15:25

「観光立国の推進と佐渡の世界遺産登録の意義と未来」

屋久島の先進事例も踏まえ、地域資源の保護、活用はもとより、子供たちへ伝え継ぐ希望溢れる佐渡の未来について考えます。

### パネリスト



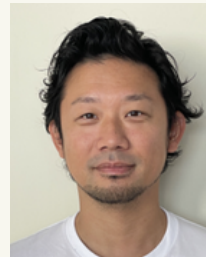
竹内 大一郎 様  
観光庁観光資源課長



渡辺 竜五  
佐渡市長



岩川 健 様  
屋久島町役場観光まちづくり課 (一社) 佐渡観光交流機構 (一社) 佐渡を世界遺産にする会  
地域振興係長 事務局長



佐藤 達也 様  
事務局長



庄山 忠彦 様  
事務局長

### コーディネーター



篠原 靖 様  
跡見学園女子大学 観光コミュニティ学部  
准教授

●内閣官房 地域活性化伝道師

●内閣府 クールジャパン地域プロデューサー

●総務省 地域力創造アドバイザー

・全国各地で新しい観光プログラムの開発や広域観光圏やDMO組織構築、インバウンド戦略の構築等を手がけている。また国土交通省「社会資本整備審議会委員」、観光庁：「外国人旅行者に対する地域資源の意識調査事業」検討委員会座長、『テーマ別観光による地方誘客事業』有識者委員等

★省庁の委員や全国各地の観光関連委員等を多数歴任

●専門研究分野は「DMOによる観光地づくり」、「観光による地域活性化論」、「交流人口拡大論」

15:25 世界遺産登録への地元高校生の想い 新潟県立羽茂高等学校代表

15:30 閉会の辞 佐渡市観光振興部長 岩崎 洋昭



2024年！全島民の思いを一つに実現させよう！

「世界遺産の島・佐渡」

## 佐渡島世界遺産登録・島民団結シンポジウム

### 佐渡島の世界戦略！

### 日本の佐渡から世界の佐渡へ！

日時：2023年12月16日（土） 12：30～15：30（12：00 受付）

場所：アミューズメント佐渡 小ホール

（〒952-1324 新潟県佐渡市中原 234-1）

後援：観光庁・文化庁・新潟県

#### 市長メッセージ

佐渡島民の悲願である「佐渡島の金山」の世界遺産登録まであと一步のところまで辿り着きました。一重に島民の皆様の弛まぬ努力の成果であり、この場を借りて心よりの感謝を申し上げます。

今後、佐渡市として、国や県と連携をしながら世界遺産登録に向けたラストスパートを掛けていくこととなりますが、当然のことながら島民一人一人のお力が不可欠であります。そうした状況の中、本シンポジウムでは、島民の皆様が世界遺産登録の意義について改めて考え、そしてその先にある希望溢れる佐渡の未来について考える、そんな場としたいと考えております。

報道機関の皆様方におかれましては、本シンポジウムにて、「佐渡島の金山」の世界遺産登録、そして希望溢れる佐渡の未来に向かって真摯に考える島民の皆様のご様子をご取材いただけましたら幸いです。



佐渡市長

渡辺 竜五

## 【本シンポジウムの概要】

四半世紀に渡り取り組みを続けてきた佐渡島民の悲願である「佐渡島の金山」の世界文化遺産登録が来年いよいよ実現しようとしています。世界遺産登録に向けて、これまでも構成資産周辺の環境美化活動をはじめ、島民がスクラムを組みながら一步一步着実に前進し、本年 8 月にはユネスコの諮問機関であるイコモスの現地調査を無事に終えることができました。もうすぐ目の前にある「佐渡島の金山」の世界遺産登録に向けて、今一度、島民が一致団結するとともに、世界遺産登録の意義、そしてその先にある世界に誇れる佐渡の未来について島民の皆様と一緒に考えます。

さらに、世界遺産登録の効果を一過性のものとしないうるためにも、島民一人一人が佐渡の歴史、文化、自然について改めて考え、観光資源として磨き、伝統と新しい価値を融合しながら佐渡全体の魅力を引き続き高めていかなければなりません。観光は旅行業や宿泊業、飲食業といった観光関連事業者のみならず、農業、漁業といった第一次産業、建設業や製造業といった第二次産業も含めた「地域の総合産業」と言われています。世界遺産登録後も見据えた、持続可能な観光について島民の皆様と模索していきます。

本シンポジウムでは、基調講演として観光庁から観光資源課長の竹内大一郎様をお招きし、他の地域の事例も踏まえた地域の観光資源の磨き上げについてご講演をいただくほか、世界遺産の先進事例である屋久島から観光まちづくり課地域振興係長の岩川健様をお招きし、世界遺産までの道のりと登録後の活用についてお話を伺います。さらには、島内の DMO、世界遺産登録のために尽力をされている民間団体の代表にもご登壇をいただき、世界遺産登録の意義と佐渡の未来について考えるパネルディスカッションを実施いたします。

悲願達成間近の今だからこそ、本シンポジウムを通して、島民一人一人が「佐渡島の金山」の世界遺産登録の意義について、そして 100 年後の子供たちに伝え継いでいく未来について改めて考えるきっかけとしたいと考えております。

## 【シンポジウムの内容】

12:30 開会の辞:佐渡市長 渡辺 竜五

花角英世新潟県知事ビデオメッセージ:新潟県観光文化スポーツ部 副部長 前川 翔 様  
来賓紹介

12:50~13:10 基調講演①

「地域の観光資源の磨き上げについて」

登壇者:観光庁観光資源課長 竹内 大一郎 様

13:10~13:50 基調講演②

「世界遺産登録までの道のりと登録後の活用」

登壇者:屋久島町役場観光まちづくり課地域振興係長 岩川 健 様

14:00~15:25 パネルディスカッション

「観光立国の推進と佐渡の世界遺産登録の意義と未来」

●コーディネーター

跡見学園女子大学 観光コミュニティ学部准教授 篠原 靖 様

●パネリスト

■観光庁観光資源課長 竹内 大一郎 様

- 佐渡市長 渡辺 竜五
- 屋久島町役場観光まちづくり課地域振興係長 岩川 健 様
- 一般社団法人佐渡観光交流機構事務局長 佐藤 達也 様
- 一般社団法人佐渡を世界遺産にする会事務局長 庄山 忠彦 様

15:25 世界遺産登録への地元高校生の想い 新潟県立羽高等学校代表

15:30 閉会の辞 佐渡市観光振興部長 岩崎 洋昭

※内容は変更となる場合がございます。

※取材を希望する場合は、12月14日(木)までに下記へご連絡をいただきますよう、お願いいたします。

本件についての問合せ先  
佐渡市役所 観光振興部  
観光政策監 兼 観光振興課長  
小林 大吾  
観光振興課観光戦略係  
番場 征哉  
電話(直通)0259-67-7602



## 【参考資料】

### 佐渡市のこれまでの取組

#### 島民向け理解促進

##### ① 『佐渡金銀山ボランティア活動』の実施

2023年6月17日、西三川地区で佐渡市主催の環境美化活動を行い、当日は、地域住民や市内企業など約60名の方が参加し、草刈り作業に汗を流しました。

作業後には、保存修理工事を行った金子勘三郎家(主屋)のお披露目会を行いました。

金子勘三郎家は、江戸時代後期から明治5年の閉山まで、砂金山の名主を務め、建物は砂金山の閉山後に、鉱業から農業へと生業が転換した様子を今に伝えています。

参加した方からは、「遺跡の清掃活動に参加できてよかった」、「当時の建物の造りをみることでよかった」などの声が寄せられました。

西三川地区以外でも各構成資産の周辺で同様のボランティア活動を実施しております。



##### ② 『親子で歩く佐渡金銀山』の実施

2023年7月23日、小学生とその保護者(60名)が笹川集落散策と砂金採りを体験し、西三川砂金山について学びました。

西三川砂金山は、12世紀末に成立したとされる『今昔物語集』に砂金採取が行われていたとの説話もある佐渡最古の砂金山であり、明治5年の閉山後は、鉱業から農業に生業を替え、現在でもかつての繁栄の様子をうかがい知ることができることから、平成23年に重要文化的景観に選定されました。

参加者からは、「本当の川で、砂金採り体験を親子でできてよかった」、「昔の人の暮らしが良く分かった」などの声が寄せられました。



### ③ 『「世界遺産の島・美しい島」クリーンアップ作戦』の実施

2023年7月30日、市民の皆様一人一人が誇りを持ち、「世界遺産の島・美しい島」を目指す取り組みとして、相川地区と鶴子地区の2つに分かれて草刈り・清掃活動を行い、合計78名の方が参加し、作業に汗を流しました。

参加者からは、「まちがきれいになって良かった」、「もっと佐渡全体をきれいにしたい」などの声が寄せられました。



### ④ 「御金荷の道」ウォークイベントの開催(4会場)

江戸時代に佐渡で産出された金や銀を江戸まで運ぶ際に通行したかつての街道は「金の道」と呼ばれ、多くの方が往来したその沿線には宿場街が形成されました。「御金荷の道」ウォークイベントでは、島民が当時の衣装を着用して街道を歩くことで、郷土愛の醸成、また、街道沿線地域での「佐渡島の金山」のPRを図りました。

- 新潟県佐渡市 2023年9月23日(土)・24日(日)  
相川～小木 <約38km>
- 新潟県出雲崎町 2023年10月1日(日)  
天領の里～北国街道ほか <約6km>
- 群馬県安中市 2023年12月2日(土)  
安中市松井田支所～安中宿ほか<約12km>
- 東京都板橋区 2023年12月9日(土)  
板橋区～日本橋ほか <約10km>



## 観光客向け理解促進

### ① 「江戸眼鏡」で佐渡の街歩き」ショートムービーの制作

「佐渡島の金山」の世界遺産登録に向けて、江戸時代の金銀山や相川の文化などを再現したCG映像を制作しました。専用パンフレットの地図上のQRコードを読み取ると、現地にて、江戸時代の風景や佐渡奉行所内の様子などを、現在の風景と照らし合わせて楽しむことができます。



### ② 「佐渡金銀山音声ナビ」の制作

佐渡金銀山遺跡の理解促進と情報発信のために、「史跡佐渡金山」観光施設内で使うことが出来る「佐渡金銀山音声ナビ」を整備しました。

解説ポイントは全部で21箇所あり、QRコードを読み取ることで、音声ガイドを聞くことができます。

日本語と英語にも対応しており、佐渡金銀山の魅力をより多くみなさまにお伝えすることができるようになりました。

日本語音声は、声優の豊嶋真千子さんに担当していただき、英語音声は、佐渡市在住のブラック・ジャスミンさんに担当していただきました。

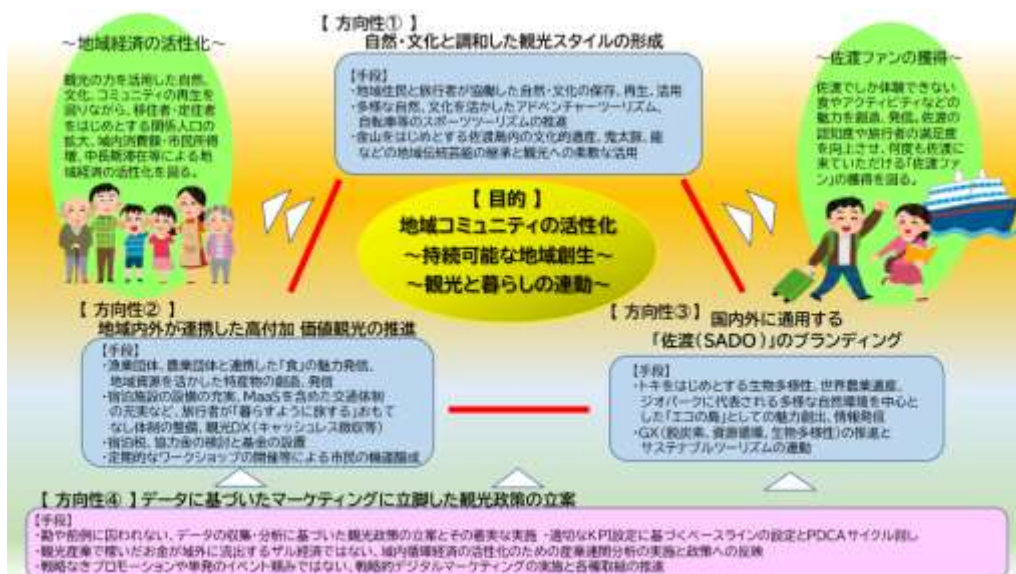




## 観光誘客戦略

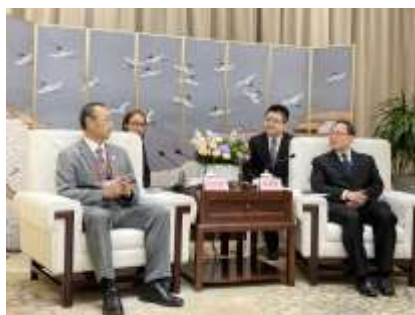
### ① 佐渡市観光交流戦略の策定

令和4年7月に島内外の有識者の方々にご参画いただき、佐渡市観光戦略会議を立ち上げました。その中で、これまで佐渡市で策定をされてこなかった観光に特化した観光戦略について5回に渡る議論を行い、「地域コミュニティの活性化」を目的とした4つの方向性を決めました。本年7月には島民向けの説明会を実施し、現在、策定に向けた最終的なとりまとめ、具体的なアクションプランの作成を進めています。



### ② 海外でのトッププロモーション

渡辺市長が中国江蘇省塩城市で開催された国際会議に出席し、佐渡の大自然を活かしたエコツーリズムの誘客を見据えた佐渡におけるサステナブルな取り組みについて、34カ国から集まった政府関係者、各国メディア等に向けてプレゼンテーションを行いました。また、塩城市長と個別に面会し、観光、文化などの分野において、今後両市で連携を深めていくことで合意しました。



## 佐渡市の今後の取り組み

### ① 「金の道フォーラム」の開催(詳細調整中)

開催予定地 東京交通会館(東京都千代田区)

開催予定日 令和6年1月28日(日)

○「金の道」基調講演、パネルディスカッション

第一部:「佐渡島の金山」・「金の道」歴史有識者による基調講演

第二部:パネルディスカッション

「金の道」で歴史資源の保存、活用に取り組む団体

○東京交通会館1階サンプリングスペースを活用したPR、物販

「佐渡島の金山」、「金の道」のPR並びに物販等のブースを出展

### ② 「佐渡金銀山アプリ」のリニューアル

観光庁から採択をいただいた「インバウンドの地方誘客や消費拡大に向けた観光コンテンツ造成支援事業」を活用し、来訪者のスマートフォンやタブレットをかざすことにより、かつての賑わいや当時の鉱山技術の様子を見ることができるAR等最新のデジタル技術を駆使したWebアプリを開発し、佐渡金銀山を巡る必須コンテンツとしての情報発信を行います。

### ③ 島内外が連携した世界遺産登録に向けた機運醸成

これまで島民が中心となっていた構成資産周辺での環境美化活動などにおいて、地域活動と観光を組み合わせたボランティアツーリズムを積極的に推進することにより、観光客と地域住民との交流を通じ、島内外が連携した世界遺産登録に向けた機運醸成を図ります。

2024年!全島民の思いを一つに実現させよう!  
「世界遺産の島・佐渡」

佐渡島世界遺産登録・島民団結シンポジウム

# 佐渡島の世界戦略! 日本の佐渡から世界の佐渡へ!

12月16日(土) 12:30~15:30

アミューズメント佐渡 小ホール

四半世紀に渡る島民の悲願!佐渡の世界遺産登録。いよいよ実現に!

佐渡のアイデンティティを世界に発信!

佐渡文化を継承し、100年先の子供たちに伝え継ごう佐渡の未来

四半世紀に渡り取り組み続けてきた「佐渡島の金山」世界文化遺産登録の悲願達成まであと一歩!今まさに我々の取り組みが実を結ぼうとしています!目の前にある世界遺産登録へ向けて今一度、島民が一致団結し、佐渡の誇りを胸に、希望溢れ世界に誇れる佐渡の未来について皆で本気で考えんかさ!



## 第1部

基調講演①

「地域の観光資源の磨き上げについて」

登壇者: 竹内 大一郎 様 (観光庁 観光資源課長)



基調講演②

「世界遺産登録までの道のりと登録後の活用」

登壇者: 岩川 健 様  
(屋久島町役場観光まちづくり課 地域振興係長)

第2部 パネルディスカッション

「観光立国の推進と佐渡の世界遺産登録の意義と未来」

お申し込みは  
こちらから!

申込締切: 12/13 (水)  
当日入場も可能!



世界遺産登録はゴールじゃない!

伝統と新しい価値の融合で佐渡は進化する!

〈主催〉



佐渡市  
niigata,sado city

〈後援〉



観光庁  
Japan Tourism Agency



文化庁  
Agency for Cultural Affairs  
Government of Japan



新潟県

お問い合わせ 佐渡市役所観光振興部観光振興課 TEL: 0259-67-7602



日時 | 2023年12月16日 (土) 12:30~15:30

会場 | アミューズメント佐渡【小ホール】佐渡市中原234-1

12:30 開会の辞 佐渡市長 渡辺 竜五  
花角英世新潟県知事ビデオメッセージ  
新潟県観光文化スポーツ部 副部長 前川 翔 様  
来賓紹介

### 第1部

12:50~13:10 基調講演①「地域の観光資源の磨き上げについて」

登壇者：竹内 大一郎 様 (観光庁 観光資源課長)

世界遺産登録目前の「佐渡島の金山」だけでなく、佐渡には独自の歴史に根付いた文化や、雄大な自然が数多くあります。世界遺産登録後も見据え、他の地域の事例も踏まえながら地域の観光資源の磨き上げについて講演をいただきます。

13:10~13:50 基調講演②「世界遺産登録までの道のりと登録後の活用」

登壇者：岩川 健 様 (屋久島町役場観光まちづくり課 地域振興係長)

1993 (平成5) 年に白神山地とともに日本初の世界自然遺産に登録。自然の保護だけでなく、雄大な自然を活かしたエコツーリズムを中心に毎年多くの観光客が訪れる「保護」と「活用」を両立した世界的なブランドを築き上げました。世界遺産の先進事例として屋久島の世界遺産登録までの道のりと登録後の地域資源の活用について講演をいただきます。

### 第2部

パネルディスカッション 14:00~15:25

「観光立国の推進と佐渡の世界遺産登録の意義と未来」

屋久島の先進事例も踏まえ、地域資源の保護、活用はもとより、子供たちへ伝え継ぐ希望溢れる佐渡の未来について考えます。

#### パネリスト



竹内 大一郎 様  
観光庁観光資源課長



渡辺 竜五  
佐渡市長



岩川 健 様  
屋久島町役場観光まちづくり課 地域振興係長



佐藤 遼也 様  
（一社）佐渡観光交流機構 事務局長



庄山 忠彦 様  
（一社）佐渡を世界遺産にする会 事務局長

#### コーディネーター



萩原 靖 様  
新潟学殖女子大学 観光コミュニティ学部 准教授

- 内閣官房 地域活性化伝道師
- 内閣府 クールジャパン地域プロデューサー
- 総務省 地域力創造アドバイザー

・全国各地で新しい観光プログラムの開発や広域観光圏やDMO組織構築、インバウンド戦略の構築等を手がけている。また国土交通省「社会資本整備審議会委員」、観光庁「外国人旅行者に対する地域資源の意識調査事業」検討委員会座長、「テーマ別観光による地方観光事業」有識者委員等

★省庁の委員や全国各地の観光資源委員等を多数歴任

●専門研究分野は「DMOによる観光地づくり」、「観光による地域活性化」、「交流人口拡大」



15:25 世界遺産登録への地元高校生の想い 新潟県立羽茂高等学校代表

15:30 閉会の辞 佐渡市観光振興部長 岩崎 洋昭

